巻頭言

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 明治大学平和教育登戸研究所資料館 公開日: 2017-02-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 山田, 朗 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10291/18435

巻　頭　言

明治大学平和教育登戸研究所資料館は，2010年３月29日に開館し，2015年度で６年目をむかえました。この間，当資料館は，登戸研究所と日本軍の〈秘密戦〉に関する戦争遺跡の保存，史実の発掘と〈記憶〉の継承の場となることをめざして，常設展示の充実と毎年の企画展の開催に努力を傾注してきました。これまでに，５万人近い来館者を迎えることができたことは喜びにたえないところです。

私たちは，主として企画展開催のために調査・研究をおこない，多くの登戸研究所関係者の方々から現物資料を提供していただくとともに，貴重な証言をうかがって記録してきました。史実の発掘と〈記憶〉の継承の受け皿になるという当資料館の役割をわずかながらでも実現できていると自負しているところですが，展示やその解説だけでは伝えきれないものがあることも確かです。

このたび，『明治大学平和教育登戸研究所資料館 館報』を年報として発行し，当資料館の活動成果を公開することになりました。従来，『年次報告書』を作成してきましたが，これは当資料館を運営し，基本方針を決定する明治大学平和教育登戸研究所資料館運営委員会に報告するための内部資料でした。この『館報』は，明治大学の学内に限らず，本資料館の活動内容と調査・研究の成果を広く公開し，戦争遺跡の保存，戦争の〈記憶〉の継承などの活動に取り組んでいる諸機関・団体・個人と情報を共有しようとするものです。

この『館報』は，発行の前年度における当資料館の活動内容と調査・研究の成果を掲載するものです。第１号の本号は，発行時期の関係から2016年になってから2014年度の内容を掲載するというやや新鮮みに欠けるものになっているかもしれませんが，次年度以降は，可能な限りタイムラグをつくることなく，前年度の報告をしていくつもりです。

まだまだ不十分な『館報』ではありますが，学内外からご意見をいただきながら，当資料館の充実と戦争遺跡の保存，戦争の〈記憶〉の継承などの全国の活動に資するものになりたいと思っておりますので，ご指導のほどよろしくお願いいたします。

2016年３月10日

明治大学平和教育登戸研究所資料館

館長　山田　朗